



与那覇岳山頂付近の藍壺の遺構



国頭村の照首林道の山中に自生するリュウキュウアイ

山の暮らしと琉球藍について

1/9 (2021) (土)

14時～16時 (開場 13時半)

**入場
無料**

明治から大正にかけて製藍業を営む人びとの暮らしについて、30年ほど前に収集した古老のお話から紹介します。つぎに、沖縄の製藍技術について、リュウキュウアイと同じ種の植物から染料を作っている中国や台湾の事例を整理し、沖縄へ沈殿法が伝わった経緯を考察します。

また、企画展「沖縄の藍」に寄せて、展示されている資料等の解説と、沖縄の藍製造者の現状について報告します。

講師：大湾ゆかり（「沖縄の藍」 展覧会担当学芸員）

会場：沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂 (100席)

参加方法：事前申込（電話・来館）
※12/9(水)より受付開始

お願い



- ・発熱や体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください
- ・マスク着用、ご入場の際に手指の消毒をお願いします
- ・健康状態の聞き取りにご協力をお願いします。
- ・自宅で検温を必ず行ってください。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリの活用をお願いします。